



8月28日(月)、小網代湾で、研究所主催の第1回「海の教室」(中学生対象、初声中7名参加)を行いました。

小パール隊の皆さんのご指導で、実施しました。最初に、乗船体験で、マダイの中間育成場、アコヤガイのいかだなどを見学しました。

続いて、アコヤガイの掃除と、真珠の核入れの2グループに分けられました。

貝の掃除グループは、アコヤガイに付いたホヤ、フジツボ、海藻などを、小さななたを使って落としていきました。そうしないと、貝が大きく育たないそうです。

また、真珠の核入れグループは、小パール隊の指導を受けて、真剣な表情で取り組みました。多い生徒は、10個ほど核入れを行いました。生徒たちの感想は次の通りです。



「核入れは、スムーズにできなかったのですが、成功するととてもうれしかったです」

「なかなか体験できないことができてよかった」

「もっと海について知りたいし、核入れの後のことをくわしく知りたい」

「真珠のできる仕組みを詳しく知りたい。核入れをもっとうまくなりたい」

「貴重な核入れを体験できたことを大切にしていき、また、核入れをしたいと思った」

「核入れは難しく、分からない事が多かったのですが、やさしく分かりやすく教えてください、ありがとうございました」

「今回は、貴重な体験ありがとうございました。海に興味を持つきっかけとなりました」

「今回の海の教室で学んだことを、よく生かせるようにし、今後も参加していきたいです」

「最初に核入れをしてからの掃除だったので、足の部分など知ってからできたことで、応用のような感じで、スムーズにかつ楽しく行うことができた」

「身の回りで行われている事業について、知ることができたし、また、2度目の参加で慣れていたこともあったのか、純粋に楽しかった。真珠の核入れという貴重な体験もできたし、それについて学ぶこともできて良かった。次の機会にも参加したいです」



8月22日(火)に、観音崎自然博物館の山田和彦学芸部長を講師として、校長教頭研修会が行われました。「三浦の海の魅力 再発見」というタイトルで、三浦の海に生きる多彩な生物について、スライドショーを使って、分かりやすく説明していただきました。(ちなみに、今回の服装は、いろいろな海の生き物をあしらったアロハシャツ、そして、おなじみのビーチサンダルでした)

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで (046-854-9443)